

## 救急救命士国家試験模擬試験 サンプル問題

- 1 脳の病変部位と障害の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
1. 小 脳 ———— 協調運動障害
  2. 前頭葉 ———— 同名半盲
  3. 頭頂葉 ———— 失 認
  4. 側頭葉 ———— 失 禁
  5. 後頭葉 ———— 記憶障害
- 2 災害時の活動原則として用いられる CSCATTT に含まれないのはどれか。1つ選べ。
1. 搬 送
  2. 救 助
  3. 情報伝達
  4. トリアージ
  5. 処置・治療
- 3 パルスオキシメータで正確な血中酸素飽和度を測定できるのはどれか。1つ選べ。
1. 低体温症
  2. 心肺停止
  3. 出血性ショック
  4. 一酸化炭素中毒
  5. 高二酸化炭素血症
- 4 意識障害を来す疾患で高体温を伴うのはどれか。2つ選べ。
1. 敗血症
  2. 低血糖
  3. てんかん
  4. 粘液水腫性昏睡
  5. 甲状腺クリーゼ

## 救急救命士国家試験模擬試験 サンプル問題

5 図（別冊 No. 1）に示す視野異常を来す障害部位はどれか。1つ選べ。

1. 水晶体
2. 網 膜
3. 視神経
4. 視交叉
5. 後頭葉

<b>別 冊</b> No. 1 図
-----------------------

6 減速作用機序によって損傷しやすいのはどれか。1つ選べ。

1. 肺静脈の入口部
2. 左冠動脈の主幹部
3. 左鎖骨下動脈分岐直下の大動脈
4. 胸部大動脈と腹部大動脈の移行部
5. 右鎖骨下動脈と右総頸動脈の分岐部

7 タバコ誤食・誤飲について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 75歳以上の高齢者に多い。
2. 浸出液の誤飲は重症化しやすい。
3. タバコ誤食は重篤となることが多い。
4. 成人の致死量はおよそタバコ10本である。
5. 誤食・誤飲後30分程度無症状であれば中毒の心配はない。

## 救急救命士国家試験模擬試験 サンプル問題

- 8 78歳の女性。仕事中に突然胸の痛みを訴え、動けなくなったため同僚が救急要請した。  
救急隊到着時観察所見：意識 JCS300。自発呼吸なし。脈拍触知せず。直ちに心肺蘇生を開始し、バッグ・バルブ・マスクによる人工呼吸を開始したところ、マスクが密着しないため気管挿管を行った。カプノメータの波形（別冊 No. 2）を別に示す。

この波形で最も考えられるのはどれか。1つ選べ。

1. 低換気
2. 過換気
3. 食道挿管
4. 片肺挿管
5. 気管チューブの屈曲

別冊 No. 2 図
---------------

- 9 68歳の男性。自宅をつまずき前額部を強打した。その後、両上肢に痺れが出てきたため家族が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：意識清明。呼吸数 20/分。脈拍 72/分、整。血圧 128/74mmHg。体温 36.4℃。SpO<sub>2</sub> 値 96%。目立った外傷はないが、頸部に痛みを訴えている。また、下肢より上肢に強い麻痺を認める。

この病態を引き起こす誘因となりやすい疾患はどれか。2つ選べ。

1. 変形性脊椎症
2. 後縦靭帯骨化症
3. 閉塞性動脈硬化症
4. ギラン・バレー症候群
5. ALS<筋萎縮性側索硬化症>

## 救急救命士国家試験模擬試験 サンプル問題

10 72歳の男性。突然の腹痛を訴えたため家族が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：意識JCS1。呼吸数24/分。脈拍106/分、不整。血圧136/88mmHg。体温36.2℃。SpO<sub>2</sub>値96%。臍周囲の持続する痛みを訴えているが、腹膜刺激症状はない。また、視診上の異常も認めない。

この傷病者に考えられる疾患はどれか。1つ選べ。

1. 急性膵炎
2. クローン病
3. 急性胆嚢炎
4. 臍ヘルニア
5. 上腸間膜動脈閉塞症

11 56歳の男性。胸痛を訴えた後に卒倒したため家族が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：意識JCS2。呼吸数36/分。脈拍126/分、整。血圧98/72mmHg。体温35.9℃。SpO<sub>2</sub>値90%。皮膚の冷汗が著明であり、外頸静脈の怒張を認める。傷病者の心電図モニター波形（別冊 No. 3）を別に示す。

救急隊の対応として**適切でない**のはどれか。1つ選べ。

1. 起坐位での搬送
2. 高濃度酸素の投与
3. 除細動パッドの装着
4. 乳酸リンゲル液の急速輸液
5. 再灌流療法が可能な医療機関への搬送

別冊

No. 3

心電図モニター波形

救急救命士国家試験模擬試験 サンプル問題

12 20歳の男性。オートバイで走行中に転倒し救急要請された。

救急隊到着時観察所見：意識清明。呼吸数26/分。脈拍80/分、整。血圧120/80mmHg。SpO<sub>2</sub>値98%。瞳孔径右2mm、左4mm、左右対光反射あり。右上肢の単麻痺と右の眼瞼下垂を認める。右上肢以外の麻痺は認めず、眼球運動異常も認めない。

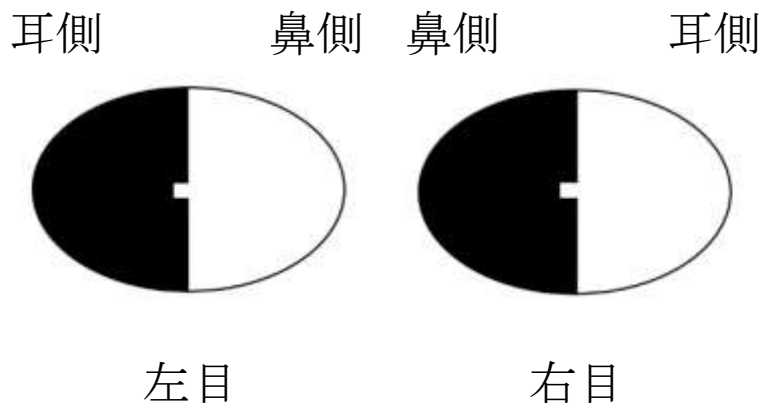
疑われる病態はどれか。2つ選べ。

1. 脳ヘルニア
2. 動眼神経麻痺
3. ホルネル症候群
4. 中心性脊髄損傷
5. 腕神経叢引き抜き損傷

別 冊

No. 1 図

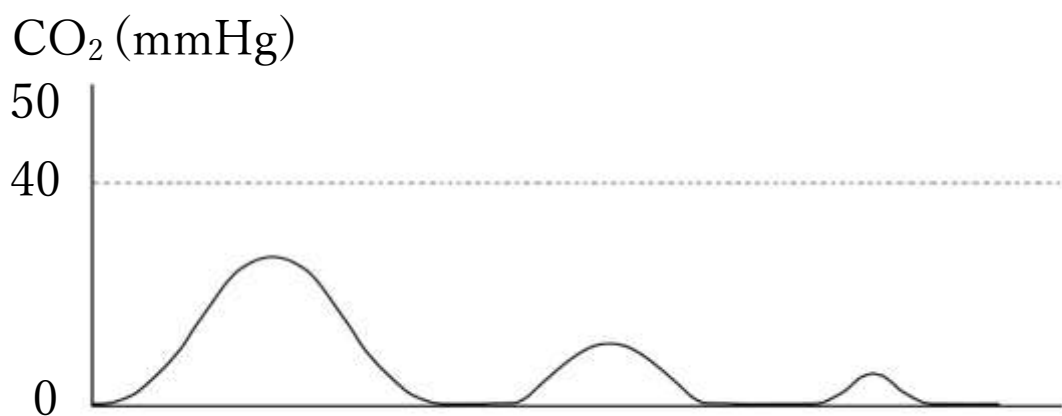
(問題5)



■ 視野異常

No. 2 図

(問題 8)



No. 3 心電図モニター波形

(問題 11)



## 解 答

サンプル問題 正答一覧 (第9版)		
問題番号	正答	該当ページ
1	1,3	上P.96 図Ⅱ-1-35,98
2	2	上P.298 表Ⅲ-1-5
3	5	上P.439 表Ⅲ-2-18
4	1,5	下P.638 表Ⅲ-4-5
5	5	下P.840 図Ⅲ-5-43
6	3	下P.935 表Ⅲ-6-3,986
7	2	下P.1077
8	3	上P.440 図Ⅲ-2-27
9	1,2	下P.981
10	5	下P.691 表Ⅲ-4-39
11	4	下P.610 表Ⅲ-3-17,748,749
12	3,5	下P.971,972

サンプル問題 正答一覧 (第10版)		
問題番号	正答	該当ページ
1	1,3	P.80 図Ⅱ-1-40,81
2	2	P.235 表Ⅲ-1-4
3	5	P.333 表Ⅲ-2-18
4	1,5	P.490 表Ⅲ-4-4
5	5	P.631 図Ⅲ-5-46
6	3	P.693 表Ⅲ-6-3,734
7	2	P.804
8	3	P.334 図Ⅲ-2-20
9	1,2	P.730
10	5	P.531 表Ⅲ-4-36
11	4	P.467 表Ⅲ-3-8,568
12	3,5	P.724